

PRESS RELEASE

安心・安全な Web 環境を実現する Web セキュリティ製品

「i-FILTER」シリーズに 6 つの機能を拡充

1月31日から提供開始

情報セキュリティメーカーのデジタルアーツ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:道具登志夫、以下 デジタルアーツ、証券コード 2326)は、「i-FILTER」及び「i-FILTER@Cloud」(以下、「i-FILTER」シリーズ)の機能拡充を行い、1月31日から提供を開始することを発表します。

デジタルアーツは、オンプレミス版・クラウド版のWebセキュリティ製品「i-FILTER」シリーズを提供しています。これらは、長年収集したURLのデータベースを活用することにより、デジタルアーツが安全と判断したWebサイトのみアクセスできる「ホワイト運用」を実現しています。さらに、利用ユーザー1,225万人※1のICT環境を既知・未知マルウェアの脅威から守り、本日までマルウェア感染被害報告ゼロを継続しています。また昨今、広範囲のセキュリティ対策需要が高まっていることから、デジタルアーツはクラウド版にアンチウイルスやサンドボックス、CASBなど多様な機能を追加搭載した独自の次世代SWGの展開を目指しています。

「i-FILTER」シリーズならではの柔軟な設定で、ユーザーの課題解決をサポート

この度、デジタルアーツは、企業・官公庁・自治体向け機能を3つ、学校・教育委員会向け機能を3つの計6つの機能拡充を行い、より強固な情報漏えい対策と柔軟な設定によるユーザビリティ向上・運用負担の軽減を目指します。

「i-FILTER」シリーズ 拡充機能一覧

機能	内容	標準搭載
企業 官公庁 自治体向け	①「i-FILTER」連携 ファイル判定機能	過去のアップロード履歴から危険度を判定
	②「i-FILTER」連携 上長承認機能	最終的に人の目を介らせてファイルを確認
	③ファイルフィルター機能	管理者が設定した拡張子・サイズのファイルのみ、ユーザーがアップロードまたは、ダウンロードできる
学校 教育委員会向け	④スケジュール機能	任意の日付、曜日、時間を管理画面上に入力し、フィルタリング設定を簡単に切り替えることができる
	⑤YouTubeチャンネルID制御機能	視聴して良い動画、または視聴を制限させたい動画がチャンネル単位で設定できる
	⑥見守りフィルター機能	フィルター設定にいじめタイプ・単語テンプレートにいじめテンプレートが追加。見守りログでは、検索単語のみ抽出して表示可能

GIGAスクール版限定

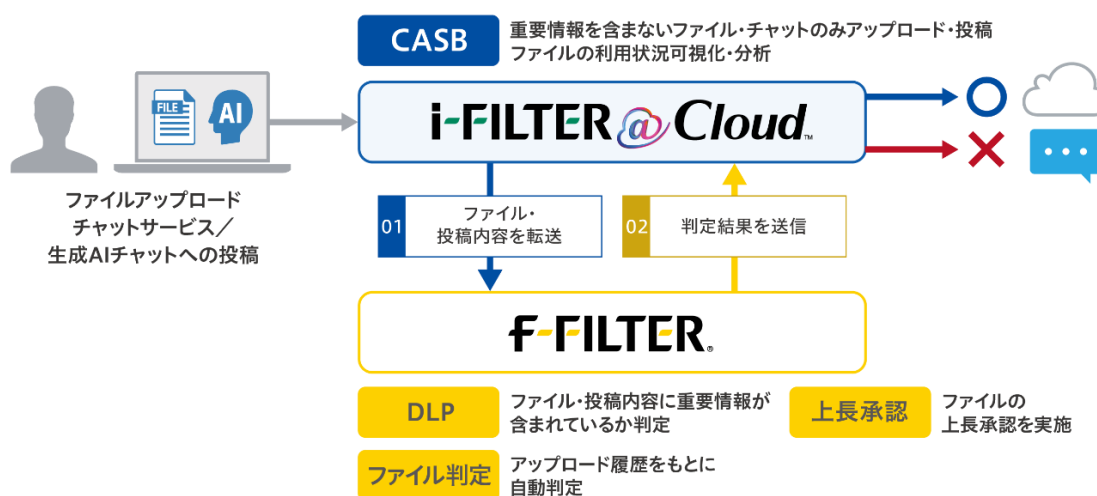
「見守りフィルター機能」は、「i-FILTER」シリーズ GIGA スクール版限定の機能であり、その他の機能はエディション関係なく搭載されています。

企業・官公庁・自治体向け f-FILTER 連携によるアップロード・投稿ファイルのチェックをより強固に

「f-FILTER」連携とは、DLP・ファイル転送サービス「f-FILTER」と「i-FILTER」を連携することで、「i-FILTER」経由で「f-FILTER」の機能の一部を、オプションとして利用できるものです。

これまで連携されていた「DLP 機能」に加え、新たに「上長承認機能」、「ファイル判定機能」が実装されました。「DLP 機能」での判定に加え、「ファイル判定機能」による過去のアップロード履歴からの危険度の判定や、「上長承認機能」により最終的な確認において人の目を介在させるワークフローを実現しました。

これら 3 ステップの厳密なチェック体制により、これまで以上に強固な情報漏えい対策が期待できます。



続いて、「ファイルフィルター機能」※2 は、管理者が設定した拡張子・サイズのファイルのみ、ユーザーがアップロードまたは、ダウンロードできる機能です。従来はファイルアップロード時に特化した機能でしたが、ファイルダウンロードも対象とすることで、様々なシーンに合わせた制御を可能にします。

例えば、ユーザーのアプリインストールを制限したい場合は、対象となる拡張子を設定することで自動的にユーザーの行動をコントロールすることができます。

学校・教育委員会向け いじめ関連のネットトラブルを未然に防止

「スケジュール機能」、「YouTube チャンネル ID 制御機能」、「見守りフィルター」は、特に学校などの教育現場で利用が期待できる機能です。

「スケジュール機能」は、任意の日付、曜日、時間を管理画面上に入力することで、フィルタリング設定を簡単に切り替えることができます。教育現場では、通常授業時と夏休みなどの長期休暇で、運用設定を切り替えている場合が多いため、事前に細かいスケジュール入力を行える仕様にする事で、切り替え直前のタイミングでの操作が不要となり、利便性が高まりました。

「YouTube チャンネル ID 制御機能」では、視聴して良い動画、または視聴を制限させたい動画がチャンネル単位で設定可能になりました。YouTube Data API を利用し、対象のチャンネルにアップロードされた動画 ID を自動で取得して共通リストに追加することで、動画単位での管理が不要と

なり、管理者の運用負担の軽減が期待できます。

GIGA スクール版に搭載している「見守りフィルター機能」においては、「自殺」「家出」「見守り」の3タイプのフィルター設定に、「いじめ」が加わりました。ネットいじめは昨今増加傾向にあり、支給端末を使いたいじめも大いに考えられます。当機能では、いじめ関連のサイトへのアクセスや SNS など、ネットへの書き込みを検知し、管理者にメールで通知することで、ネットトラブルの未然防止に寄与します。

デジタルアーツは引き続き、ユーザーの運用課題や要望を吸い上げ、製品への機能追加や機能拡充に努めてまいります。また、NEXT GIGA に向けての新機能実装も検討しています。

※1 2023 年 9 月末時点における「i-FILTER」Ver.10、「m-FILTER」Ver.5、「i-FILTER@Cloud」、「m-FILTER@Cloud」のユーザー数（自社調べ）

※2 旧アップロードフィルター ダウンロードの制御を追加したことにより名称を変更

■「i-FILTER」とは

「i-FILTER」は、Web セキュリティ製品です。有害情報や業務に関係のない Web サイトの閲覧を防ぐフィルタリングに加え、外部からの攻撃、内部からの情報漏えいも防ぎます。国内で検索可能な URL を網羅したデータベースにより、危険な Web サイトや未知の脅威へのアクセスをブロックし、デジタルアーツが安全と判定した Web サイトのみアクセスできる環境を実現しています。

対 象 製 品 : i-FILTER Ver.10 / i-FILTER@Cloud（通常版/GIGA スクール版/有害情報対策版）

価格（税抜き）:「f-FILTER」連携機能は 1 ライセンス当たり月額 100 円、その他の機能は標準搭載

提供開始日 : 2024 年 1 月 31 日

U R L : <https://www.daj.jp/bs/i-filter/>

■ICT 端末を安心・安全に活用するための「i-FILTER」徹底解説セミナーを 2 月 20 日(火)に開催

GIGA スクール構想のスタートから早 5 年が経ち、2,824 億円の文科省補正予算案が閣議決定されるなど、NEXT GIGA に向けた動きが加速しています。しかし同時に、不適切な Web 利用・深夜利用による身体への悪影響・ネットいじめなど、ICT 活用における様々なリスクがさらに顕在化することが予想されます。また、教職員の端末利用においてもセキュリティガイドラインに対応した対策が必須となってきます。

そこで本セミナーでは NEXT GIGA、校務 DX で求められているセキュリティ対策のポイントを解説し、多くの教育関係のお客様にご導入いただいている Web セキュリティ製品「i-FILTER」をデモを交えてご紹介いたします。

同製品のおすすめ設定や、教育機関向けの最新機能（YouTube 制御、利用時間制限、校務 DX 向け機能など）、他社フィルタリング製品との比較等、お役立ていただける情報をお届け予定です。

日 時 : 2024 年 2 月 20 日(火) 15:00~15:50

お申し込み方法: [お申し込みフォーム](#)に必要事項をご入力ください。

参 加 費 : 無料

デジタルアーツ株式会社 概要

Web、メール、ファイルなどのセキュリティソフトウェアの提供を核に事業展開する情報セキュリティメーカーです。

1995年の創業以来、「より便利な、より快適な、より安全なインターネットライフに貢献していく」を企業理念とし、有害情報の閲覧を制限するWebフィルタリングソフトを開発、以来企業・公共・家庭向けに情報セキュリティ製品を提供しております。

東京都千代田区大手町 1-5-1 大手町ファーストスクエア ウエストタワー14F ▶URL: <https://www.daj.jp/>

<本リリースに関するお問い合わせ>

デジタルアーツ株式会社 広報課 関・宮内 TEL : 03-5220-1670/ E-mail : press@daj.co.jp

※ デジタルアーツ、DIGITAL ARTS、i-FILTER、i-FILTER Anti-Virus & Sandbox、i-FILTER@Cloud Anti-Virus & Sandbox、i-FILTER@Cloud D アラート発信レポートサービス、info board、Active Rating System、D-SPA、Anti-Virus & Sandbox for D-SPA、NET FILTER、SP-Cache、White Web、ZBRAIN、クレデンシャルプロテクション、ホワイト運用、m-FILTER、m-FILTER MailFilter、m-FILTER Archive、m-FILTER Anti-Spam、m-FILTER Anti-Virus & Sandbox、m-FILTER@Cloud Anti-Virus & Sandbox、m-FILTER@Cloud D アラート発信レポートサービス、m-FILTER File Scan、Mail Detox、m-FILTER EdgeMTA、EdgeMTA、FinalCode、i-フィルター、DigitalArts@Cloud、Desk、Desk Event、StartIn、f-FILTER、D アラートおよびDコンテンツその他の弊社・弊社製品関連の各種名称・ロゴ・アイコン・デザイン等はデジタルアーツ株式会社の登録商標または商標です。

※ その他、上に記載された会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。